

## 技術・家庭の勉強法



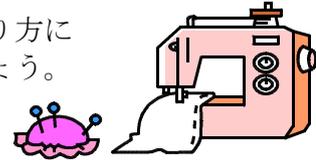
技術・家庭科は、よりよい生活をしていくために必要な基礎的な知識や技術を学び、進んで生活を工夫し創造する能力と態度を身につけていく教科です。

### 技術分野では

実際にもものづくりをしたり、コンピュータを操作してその技術を身につけていく中で、いろいろと工夫したり、自分なりの新しい考えを出すように心がけましょう。

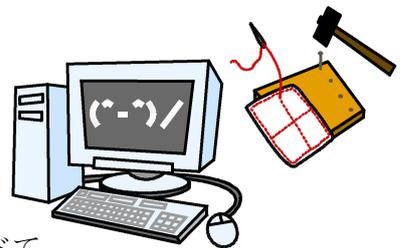
### 家庭分野では

家庭の役割や周囲の人とのかかわり方、暮らしと環境のかかわり方について考える中で、生活を工夫し実践する力をつけていきましょう。



### 授業の受け方

- (1) 教科書、ノート、その他用意するものが指示されるので、忘れ物をしないこと。忘れ物をすると、その日の授業ができなくなります。
- (2) 実習時は服装もきちんとして授業にのぞみましょう。
- (3) ノートは確実に記入する。ノート提出のときは、期限に遅れずに提出しよう。
- (4) ワークシート（プリント）などは大切なので、ノートに貼るか、ファイルに綴って保管する。
- (5) 作品は実技点の中でも大きな割合を占める。先生の説明をよく聞き、工具や道具の扱い方や材料の特徴を考えて、ていねいに作業をしよう。できあがりだけでなく、制作途中の過程も評価されるので、期限内に仕上げること。
- (6) 学習内容は、普段の生活に関係したものが多く、今までの経験や日常生活を思い出しながら関連づけて取り組みましょう。
- (7) 多くの作業や実習があります。先生の指示をよく聞き、安全面に気を配り、事故のないように注意して行いましょう。
- (8) 作業や実習が終わったら、使用した工具や道具、調理器具などを元の場所にきちんと片付けること。



### 家庭学習の仕方

- (1) 宿題はほとんど出ませんが、学習内容によっては家庭で調べてくることなどが宿題として出されることがあります。
- (2) 授業で学習したことを忘れないようにするために、授業のあった日は教科書やノートを読もう。（読むだけでも学習効果はある）
- (3) 授業で学習した内容は、普段の生活に関係が深いものが多く、家庭のいろいろなことに関心を持ち、積極的に実践してみよう。

### テスト勉強の仕方

- (1) 実技点や平常点、ペーパーテストのどれも重視するので、試験範囲が発表されたら、教科書やノート、ワークシートをよく読んで内容を理解しよう。いくら作品のできが良くても、テストの点数が悪ければ、高い評定はつかない。
- (2) 覚える内容は、紙に何度も書いてしっかり覚える努力をしよう。  
（技術・家庭科は覚えることが多いので、テスト前日だけの勉強では難しいと思います）
- (3) 「なぜだろう」「どうしたらよいのだろう」などの疑問点やわからないことは、そのままにしないで、それを解決する努力をしよう。どうしてもわからなければ、先生に聞くのが一番早い。